

建保四年八月廿二日當座
朝紅葉 夕橋夜 深山霧 羈中戀 海色窓
朝紅葉 夕橋夜 深山霧 羈中戀 海色窓
朝紅葉 夕橋夜 深山霧 羈中戀 海色窓

歌合

建保四年八月廿二日當座

題

朝紅葉 夕橋夜 深山霧 羈中戀 海色窓

他著

左

女房

實氏卿

賴範卿

經通卿

保季朝臣

經高朝臣

家宣朝臣

經弟

資隆

右

家衛卿

雅清朝臣

範基朝臣

行能

藤康光

衆議判

隱名如恒

兵衛内侍

知家朝臣

範宗朝臣

信實

一番朝紅葉

左勝

女房

よき雲ハあまをふれゆく山はまのさる紅葉は秋風と吹

右

兵衛内侍

秋とすく時向ふはるに作京と川くまの秋杜比草

左勝

二番

左持

實氏

何さ似く時向ふはるに魚をひく秋あゝる多神おひは

右

範宗

此山は乃ら山とせし山のらりては別處多しうらふらみ
為持

三番

丸持

経通

色なきらゆきまはつら網書に山はあさとなつてはゆく

右

家衛

あつねすやこれ園の船りきうらふは木葉成り

女首為常也仍為持

四番

丸持

頼範

秋は色もすこ別處はよきと多て見然とれる葉はみち

右

雅清

船目もさうと也是れうと糸糸とてかあすも也やふ

為持

五番

左持

保季

山と色もさうと也是れうと糸糸とてかあすも也やふ

右

行能

此山は乃ら山とせし山のらりては別處多しうらふらみ

持

六番

左持

経高

三葉山よりみちをまわるとる船客はあまのつらら嶺は鶴を

右

知家

紫は戸とつららあまのつらら嶺のまにみ葉うつらら秋はむね

左はむね指事一仍る持

七番

左持

家宣

きつた山あまのつらら嶺の秋はむねとらむつららや船日ぬむ

右

信實

みまのまのつらら嶺の秋はむねとらむつららや船日ぬむ

左右むね指事一仍る持

八番

左

経兼

あまのつらら嶺の秋はむねとらむつららや船日ぬむ

右

範基

朝日よつらら嶺の秋はむねとらむつららや船日ぬむ

右秋の勝

九番

左

資隆

左 右
康光

左 右
康光

十番 夕攝衣

左 勝

女房

右
範宗

左 右
實氏

十一番

左 勝

實氏

左 右
實氏

右 勝

内侍

左 右
實氏

右 勝

十二番

左 勝

通

左 勝
康光

右 勝

康光

卷百九十六

四十八

山崎守邦之の唐書をねて秋さよもり一夜うら流
左より病仍右の勝

十三番

丸

頼範

夕つらひすやとくは松のとけをさびくともあつた也

右勝

家衡

夕つらひすやとくは松のとけをさびくともあつた也

丸歌は是吉子也右の勝

十四番

丸勝

保季

あきゆふのももをよとよみ海に麻はる夜れとまらあり

右

信實

あきゆふのももをよとよみ海に麻はる夜れとまらあり

右より始のふ文ま心にお叶仍丸の勝

十五番

左

経高

きり雲井よ人どへえはくくをくれぬとらとら

右勝

雅清

夢さき夕風あはぬせさうくもつとく夜うら也

丸歌くく右より始仍右の勝

十六番

九持

家宣

遠近のさめぬいふとやうねもあやうき人此秋の風

右

範基

穂をれ神よき一此いよみ此月御かとうう夜外

左あふぬいさううそいさあうめくわ右又

夕のつゝくす地きうとを為持

十七番

左

経弟

夕風此ゆきうらゆし秋にいにぬらちも賤はさう

右勝

行能

わきあふよききあはうう夜きうさ此山の秋はさう

左強其詞あひそい右為勝

十八番

左

資隆

財はあふあき此狭夜うたなくうををたれとていさう

右勝

知家

うらもをせりいづふたれを唯さうも夜うらん

左奇うらう人あ事也右強又強とて為勝

十九番 深山霧

九勝

女房

松花のつぼみあはれとてなごりありと秋は深山に夕音はる

家衡

霧うらや深山はくくまらる麻はくくまらるやまこへる夢をま

九番

女番

九持

實氏

さるの深山はくくまらる音はくくまらるくくまらる

右

知家

とくまや峰はくくまらるあはれとてなごりありと秋は

左右必難仍為持

廿一番

九持

経通

山深きまらる海ふたはあはれ

右

範宗

吹奏は千種乃とてあつうら霧はたえまは深山のあ

左右在り持

廿二番

左勝

頼範

友よはくく遠く他人の夢すまら今物まらくくまらる

右

範基

胡より此よりこの山と秋の多しとて草葉と草の白家
右より此より此の山と秋の多しとて草葉と草の白家
以尤為勝

廿三番

左

保孝

此より此より此の山と秋の多しとて草葉と草の白家
右より此より此の山と秋の多しとて草葉と草の白家
以尤為勝

右

康光

卷向は松よりこの山と秋の多しとて草葉と草の白家
右より此より此の山と秋の多しとて草葉と草の白家
以尤為勝

廿四番

左

経高

平より袖より此の山と秋の多しとて草葉と草の白家
右より此より此の山と秋の多しとて草葉と草の白家
以尤為勝

右

行能

平より袖より此の山と秋の多しとて草葉と草の白家
右より此より此の山と秋の多しとて草葉と草の白家
以尤為勝

左

廿五番

左

家宣

平より袖より此の山と秋の多しとて草葉と草の白家
右より此より此の山と秋の多しとて草葉と草の白家
以尤為勝

右

雅清

まじのあつあつとくお金のひらいたりまゝぬ務りて
左右共の持

廿六番

左持

経兼

きう子いり山流とゆふ夕房上麻比もまへ遠きうぬる

右

兵衛内侍

い山へはまぬあつ先とゆきうらんまよりたれ此扇の綴り

左右共の持

廿七番

資隆

山人とあれしおきて帰るまじらうこれあれまじら

右勝

信實

まじらひぬ顔れ知きうりくへまゝぬ扇にあつ山風

右款を為勝

廿八番 鞆中戀

左持

女房

あつり何連いあつぬれ雲うあへまそ遠きあつ

右

兵衛内侍

梁う程のまき并に夜まき月あつりこれまきとあつ

左右共の持

廿九番

左

頼範

乃きうらぬ成らる神のよは液とあつるうらたあし霊

右勝

行能

中藤原うり福此床乃山風一秋の勢曼とききて

左奇ありの白雪心と難得仍右と為勝

三十番

左勝

實氏

あきとくハ草比まくのうりけしよとそとあすあはとあ

右

家衡

旅のとうゆ一此煙とかなるあてもするうもれお我身也あ

右秋もるわくもれき羽うらうとそ左勝

三十一番

左勝

経通

旅うらまき川うらまき右つれ侍のこも神よのまきし侍

右

知家

きひ夜あま此まうれの袖乃あまうらハ秋まきし此床山風

右奇俊成卿のうらまきりとれ此お遠とそ左勝

為勝

三十二番

左

保季

如きく如きくも出次後くもいひ給事此意くもいひ

右勝

康光

思ひねれ事此由の由もいひしれす此る人の面影

右新約為ありとて勝

三十三番

左物

経高

之りもいひしれも白雲此る事此に流つてあり

右

信實

よつろ空存く月とめりていひ給事此意くもいひ

左右右左指事仍為持

三十四番

左

経兼

左のひあまる此の意くもいひ草此花の意くもいひ

右勝

範宗

我もよまのこれ社よりあはれいひ此の事もいひ

右安詞債なりとて勝

三十五番

左勝

資隆

事まらしむもいひいひ大言此意くもいひあまる袖の意くもいひ

右

雅清

後夜くらやみてぬん甚川のいりも物と物とあつてふ

右歌甚のりひらもなりとそたお猪

三十六番

左

家宣

東海の思ふすうと海園北名とそとも猶とそと北雲山

右歌

範基

玉辭乃乃此多葉乃うり物多とそとふよよひひり

三十一番 左あやうりくく右歌云雅とそと勝

三十七番 海遠恋

左持

女房

濱之りうた此とある標くよおとらうと美い少ひも物

右

範宗

かまやの浦の月とそと秘ぬと浪と袖とそと

た右とそと無指事とそと特

三十八番

左物

實氏

く池物とそと人此浦のよと貝ワとそとぬとそとあやう

右

康光

けりもつとあ海しとそとぬとそとや入とそとぬとそと後

左右生心詞狩うまきと右仍為持

三十九番

左抄

経通

まひぬまの袖やとひまをいふまの境くじ登此名やうん

右

岩瀬内侍

あふきよわねあくは此濱千鳥あはれ下浪の乳遊流

左抄右抄為抄う抄ま抄為抄持

四十番

左

保孝

懐れしうまの心との数あて登此うまの心との心

右勝

雅清

やうまの心との心あて伊勢流やまの心の心

左抄右抄や抄ま抄の抄心抄の抄心抄の抄心抄

四十一番

左持

経兼

ひまの心との心あて此浦をより濱へまの心

右

信実

いまの海乃あまねまの心との心あて此浦をより濱へまの心

左右共させる事なりとを為持

四十二番

卷之九

三十一

左持

家直

もつたあしは海公もつたあしは海公の御事

右

知家

よつたあしは海公もつたあしは海公の御事

たねとねる事ありと為持

四十三番

左持

資隆

よつたあしは海公もつたあしは海公の御事

右

範基

よつたあしは海公もつたあしは海公の御事

左右ともとる一とく為持

四十四番

左勝

経高

あふ事と猶もつたあしは海公の御事

右

行能

思ひあつたあしは海公の御事

うらよあつたあしは海公の御事

四十五番

左

頼範

あつたあしは海公の御事

卷之九

三十一

卷百九十六

右脇

家衡

いづれ小敷夜あつしけう波よふ心さし獨りさし
左寄とらふさきふよりし右脇勝

右建保四年八月廿二日歌合の古字を校合

[Faint handwritten text, likely bleed-through from the reverse side]

歌合

建保四年八月廿四日當座

題

夕草花 古寺月 寒山雁 寄雨意 寄石恋

寄夢恋

作者

左

女房

經高朝臣

家宣朝臣

行能

信實

資隆

藤康光

卷百九十六

六